

# 会 議 議 事 録

|              |   |      |    |         |        |
|--------------|---|------|----|---------|--------|
|              |   |      |    |         | 記録者 武田 |
| 供覧           | 教育長   | 教育部長 | 課長 | 課長補佐・GL | グループ員  |
| 件 名          | 令和4年度 第2回 龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議  |      |    |         |        |
| 日 時          | 令和5年1月26日(木) 午前10時00分～午前11時50分  |      |    |         |        |
| 場 所          | 龍ヶ崎市役所5階 第1委員会室   |      |    |         |        |
| 主催者          | 教育委員会 文化・生涯学習課  |      |    |         |        |
| 出席者          | <b>【委員】</b> 坂本文, 手島絵美, 飯塚拓也, 中山美恵子, 木内敦子, 石塚満子<br>堀端克久, 長谷川智子, 伊東育子 (委員9名)<br><b>【事務局】</b> 国松課長, 山西課長補佐, 記録者            |      |    |         |        |
| 内 容          | 1 開会<br>2 課長あいさつ<br>3 出席委員の紹介<br>4 議事<br>(1) 龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画(第四次)案について<br>(2) 龍ヶ崎市教育委員会への答申について<br>5 閉会                 |      |    |         |        |
| 事務局<br>(山西)  | (開会)  |      |    |         |        |
| 事務局<br>(国松)  | (あいさつ)  |      |    |         |        |
| 事務局<br>(山西)  | (委員の紹介)<br>(事務局紹介)  |      |    |         |        |
| 事務局<br>(記録者) | ありがとうございます。議事進行については、龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会条例5条第2項の規定によりまして、委員長が議事をつとめることとなっておりますので、飯塚委員長に議長をお願いいたします。                        |      |    |         |        |
| 議 長          | (議事録署名人として、木内委員を指名)<br>(各委員「異議なし」)  |      |    |         |        |
| 議 長          | それでは、議事に入りたいと思います。今回、龍ヶ崎市子ども読書活動推進計画の第四次について、龍ヶ崎市教育委員会から意見を求められております。皆さまから出された意見をもとに、教育委員会へ答申いたしますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。 |      |    |         |        |

|              |  |
|--------------|--|
|              | 第四次計画の概要について、事務局から説明をお願いします。   |
| 事務局<br>(記録者) | (事前質問がなかったことを報告)<br>(配付資料に基づき計画の概要を説明)   |
| 議長           | ただ今、事務局より説明がありました。委員の皆さま、ご意見やご質問、感想でも良いと思いますがいかがでしょうか。   |
| 議長           | コロナは、アンケートや利用状況に何か影響はありましたか。   |
| 事務局<br>(記録者) | 外出制限があり、図書館は休館や時間短縮、学校でも休校などがありましたので、それがアンケートの数値に出ていると思われます。   |
| 議長           | 先生方、学校図書館や子どもたちの様子はいかがでしょうか。   |
| 坂本委員         | 中学校では、コロナで学校に来られない間は、貸出冊数を増やすなどの対応をしました。中学生は、休み時間も短く、行事などで忙しいですが、学校図書館司書の先生がイベントを開催するなど、子どもたちが図書館に足が向くようにしています。国語科の先生を中心に、子どもたちに声をかけ、朝読や学級文庫を活用するなどして、読書への意識付けをしているところです。  |
| 手島委員         | 当校は、図書室が小さいため、子どもたちが密にならないよう、月曜日の休み時間は何年生、火曜日は何年生というように、曜日で利用を区切っています。それを補うために、学級文庫を増やしたり、司書の先生が読み聞かせをしたりしています。読書ボランティアの方が読み聞かせに来てくださったり、朝読を取り入れたりしながら、読書活動が途切れないように進めています。  |
| 議長           | 当園は絵本のコーナーがあり、本が集中していますが、子どもたちが自由に園内を行き来するところに感染の可能性がありますので、保育室に置く本を増やして対応しています。コロナは、私ども幼児施設の読書環境に影響を与えているなどと思っています。伊東委員のところはどうですか。  |
| 伊東委員         | 各教室と共有スペースに絵本を置いています。共有スペースでは、学校でいう学年別に本を置き、たとえば、2学年上の本でも自然に手に取って読めるようにしています。コロナ感染対策としては違うのかも知れませんが、乳幼児期は、肌と肌の触れ合いや、子ども同士の触れ合いが発達に大切であると考えています。また、言語の遅れが、コロナで倍に増えたと感じています。園はもちろん家庭での読み聞かせを勧めているところです。<br>また、コロナ以降、スマートフォンなどデジタルの利用が家庭の中で増えていると感じています。その弊害と考えられるケースもあり、保護者には、本を読んで悪いことはない。携帯を見るなら、簡単な絵本で良いので見るようお話をしています。 |
| 議長           | 私ども幼児施設の立場からは、家庭のデジタルメディアの使用方法については、問題を感じています。発達障がいと思われる言語の遅れや友達とのコミュニケーションの問題などが発生していて、社会にSOSを発していると感じています。   |
| 堀端委員         | 第三次よりコンパクトな計画ということで、「学童保育ルームの図書の充実」が削られているようです。プレパパ・プレママも項目が変わっていますが、コンパクト化したポイントを教えてください。   |
| 事務局<br>(記録者) | 第三次の「学童保育ルームの図書の充実」で実施しているのは、中央図書館からの団体貸出の搬送です。また、学校でも、教材が足りない時には、中央図  |

|              |   |
|--------------|---|
|              | <p>書館から貸出をして役立ててもらいました。中央図書館が団体貸出を行い活用してもらうという共通点がありましたので、第四次では「市立図書館団体貸出の実施と活用」にまとめました。</p> <p>貸出先の保育ルームや学校が施策の担当となっていませんが、双方から貸出冊数の実績を報告してもらう必要はないと考え、担当を図書館に絞りました。「市立図書館の出前講座の実施」も同様の考えです。</p> <p>プレパパ・プレママは、基本方針2中の「家庭・学校等・地域における推進のための連携」の「家庭における推進のための連携」から、第四次では、基本方針1中の「子どもの読書に関する大人への支援・育成」に移っています。プレパパ・プレママのパンフレットは、図書館が作成し、健康増進課で母子健康手帳を交付時に渡していますが、2つの施設の連携より読書の大切さを伝えることに重きを置いて移動しました。</p> |
| 堀端委員         | <p>第三次の「教育研究会図書館研究部における研究の奨励」を、「教職員の理解と促進」に変更した理由を教えてください。また、教員研究会は、第三次までずっと継続していましたが、その研究の成果と課題というような報告書はあるのでしょうか。</p> <p>研究して行く中で、成果や課題があったと思います。それを、第四次に反映したということではないのですか。</p>   |
| 事務局<br>(記録者) | <p>教育研究会は、社会部会や国語部会などがあり、先生方が年度などでテーマを決めて研究している組織です。先生方の間で発表など行っていたかと思いますが、子ども読書活動推進事業のなかで、研究成果の公表を求めたことはありません。</p>   |
| 堀端委員         | <p>市立図書館のヤングアダルトコーナーについて、知らないという回答が90%と認知度が低い。このコーナーは、いい本が置いてあるのに残念だと思います。サービス向上のためには、利用状況の把握が必須であると思うのですが、予定はないのでしょうか。</p>   |
| 事務局<br>(記録者) | <p>図書館で、一冊毎の利用数は把握できますが、コーナー全部の本で行うのは大変な作業であると思われます。また、コーナーの本を借りて読んだ方が、ヤングアダルト世代の利用者であるかどうかの確認は難しいです。</p> <p>図書館でも、利用が伸びないことを課題であると考え、SNS等を利用した情報提供などを模索しているところです。</p>  |
| 堀端委員         | <p>良いコーナーなので、1冊でも多く利用してもらえよう考えてもらいたいと思います。</p>  |
| 中山委員         | <p>会議資料で図書館は、毎年、2,500冊程度の児童図書を購入しています。館内には、中高生にすすめる本や子どもにすすめる本のパンフレットが置いてあり、おすすめ本の展示をするなど、良い環境づくりに努力しているのがわかります。プレパパ・プレママの取り組みからも、小さいころから本に親しんでもらいたいという熱意が感じられます。</p> <p>一方、アンケートで、小さな子どもの保護者が、コロナ前に比べて図書館に行く必要がないと答えているのはショックです。たつこの図書館の子ども用スペースも利用が少ないように感じます。</p> <p>プレパパ・プレママ、ブックスタートの取り組みから、家庭で本を読むように繋いで行くことは大切だと思います。</p>  |
| 木内委員         | <p>就学時健康診断の時に、小学校に入学する子どもの保護者に話をする機会があります。その際、1日3分、お子さんと向き合いたいとお話しますが、本を読みましようを加えるといいのではないかと考えています。1回より2回、</p>  |

|              |   |
|--------------|---|
|              | 3回と「読みましょう」と言葉で促す。大切なことは訴え続ける必要があると思います。  |
| 議 長          | 長谷川委員は、保護者の立場からどんな感想をお持ちですか。  |
| 長谷川委員        | 子どもが中学生です。アンケートで小学生より不読率が高いとありますが、本当にそうだと実感しています。小さな頃から、図書館に行く機会を作ってきたのですが、勉強や行事、部活と忙しく、大きくなればなるほど、読書の時間を作ることは難しくなって来るのだと思います。  |
| 堀端委員         | もう1つよろしいでしょうか。図書館のボランティアについては、第二次計画の時に数値目標が達成されず、第三次計画に引き継がれたと記憶しています。今回の第四次で、ボランティアについてはどうなっていますか。   |
| 石塚委員         | ボランティアについては、市のボランティア活動ということで、夏休みに本校の生徒が高校生ボランティアとして参加したことがあります。その中で、園児との触れ合い、キャンプなどのほか、ご指導をいただきながら読み聞かせも体験したことがあります。とても参加しやすい良い事業であったと思います。   |
| 事務局<br>(記録者) | 社会福祉協議会が夏休みに行っているボランティア体験のプログラムに、図書館での読み聞かせが入っていたと思います。<br>今回の計画では、図書館ボランティアは「読み聞かせボランティアの活用・支援」に入れてあります。計画書の18ページになります。<br>第三次の結果でボランティアの登録数は減っていますが、コロナ以降にブックスタートの読み聞かせを中止していたため、図書館でボランティアの募集を行わなかったことによります。再開後は、ボランティアの確保に努めます。   |
| 堀端委員         | 第三次の「地域ボランティアの育成」は、どこかに含まれますか。  |
| 事務局<br>(記録者) | 同じ様に「読み聞かせボランティアの活用・支援」に含んでいます。学校等で活動されている読み聞かせボランティアを中心に、研修会を行うなど活動を支援して行きます。  |
| 堀端委員         | 計画書案14ページの数値目標4のところ、高校生になると急激に数値が落ちています。石塚委員は、高校の先生として、どのように考えますか。  |
| 石塚委員         | 本校では本が好きな生徒は多いのですが、コロナ以降、一気にスマートフォンなどを観る機会が加速した感があります。ただ、生徒が、小さい頃から読み聞かせをしてもらったりして、本の大切さを感じているのは確かです。図書館に足を運ぶ時間がなくても、インターネットで本を購入して読んでいることもあると思います。<br>保育福祉コースができて、保育士や幼稚園の先生を目指す教育を取り入れています。その中で、読み聞かせや伊東委員がお話していた肌と肌の触れ合いの大切さを伝えて行きたいと思っています。読み聞かせの授業の中で、自分が貰ったブックスタートの本を大切に持参する生徒もいます。そのような姿からも、小さいころに読み聞かせを体験する大切さを感じますし、伝えていかなくてはならないと思います。<br>本校では朝読書も行っておりますので、生徒は月に1冊は本を読んでいますし、読む生徒はより多くの本を読んでいると思います。 |
| 議 長          | 読書を定着させるのに、幼稚園、学校など教育施設の役割は大切だと思います。学校で、もう少し図書室などの読書環境を改善することについては、どうでしょうか。こんな風になれば良いと思うところがあれば、答申に盛り込んで  |

|      |   |
|------|---|
|      | いきたいと思います。  |
| 坂本委員 | 施設のことは難しいと思います。足りない部分は、市の図書館から本を借りる、授業の中で本の紹介をする、学校内の移動図書を活用するなど、工夫して対応していきます。  |
| 手島委員 | 今後、小中一貫で新校舎を作る場合は、子どもたちが広々と読める図書館が理想的だと思います。<br>現在、4年生を受け持っていますが、絵本から児童書へと上手く進めない児童もいます。その間をどう橋渡しするかが難しく、ここがスムーズにいかないと、中学生でも読書が進まない。低学年・中学年・高学年と段階的に支援ができれば、よりいろいろな本に手が伸びるようになるのかなと思っています。  |
| 議長   | 今回、私たちは、教育委員会から諮問されていて、回答をお返ししなければなりません。答申には、小中学校の図書室の施設環境が改善されることを盛り込みたいと思いますが、いかがですか。記録の中に残してください。<br>それから、もう一つ、子どもへ読書の働きかけをする立場にある、大人自身の読書の問題もあったと思います。<br>また、SNSの話も出ましたが、例えば、ツイッターのやりとりで中央図書館と利用者の距離が近くなるのはSNSの利点であり、有効な利用方法であると思いますので、しっかりと活用することも強調したいと思います。                          |
| 議長   | そのほかに、意見でも感想でもありましたらお願いします。   |
| 堀端委員 | このアンケートの中で一番気になったところです。「読書をしないのはどうしてですか」の回答で小学5年生の23.3%、中学2年生の29.8%が「つまらない」と回答しています。学校の先生方と、意見交換する機会はなかなかありませんので、この機会にお尋ねしたいのですが、先生方はこのことをどのように受けとめていらっしゃるのでしょうか。そして、これを打破するための考えがあればお聞かせください。  |
| 議長   | 先生方いかがですか。  |
| 石塚委員 | 子どもたちは、読書そのものが好きとか好きではないという判断ではなく、自分が好きな動画などを観ている時、趣味や部活動をしてる時とかと比べて、読書がどうかという回答をしている気がします。   |
| 手島委員 | 子どもたちに放課後は何をしているかと聞くと、ゲームとユーチューブという答えがほとんどです。流れて来るものの方が楽で、本でも時間をかけて読むものよりも、パッと見て楽しむイラストのようなものが好まれると思います。図書室で本を選ぶ時も、中身ではなく表紙で決める子が多く見受けられます。ゲームも、リアリティがあるものに進化している今、子どもたちに文字だけの本を読ませるのは難しいのが現状です。本を読んで培われるはずの創造力が身についていないのではないかと、ステキなものが身近に溢れていて、こんなものがあつたらいいという思いが薄くなっているのではないかと感じる事例もあります。 |
| 堀端委員 | 第三次の課題として挙げられていることを、私たちがどのように解決していくべきなのかあるいは問題提起して行けるかが問題です。  |
| 議長   | 読書よりステキなものがあつたとしても、本がなくてもいいと思っている人は少ないと思います。読書は推進していかなくてはならないです。  |

|              |  |
|--------------|--|
| 石塚委員         | 学校と市立図書館の連携についてですが、市立図書館にある本を借りたい場合に、学校図書室で受け取れるようなしくみはありますか。  |
| 事務局<br>(記録者) | 図書館のシステムと学校図書館のシステムが繋がっていて、図書館の本を学校で貸出・返却している自治体はありますが、当市では行っておりません。   |
| 議 長          | <p>委員の皆さまから様々な意見が聴けました。ありがたく思います。</p> <p>本日、皆さまからいただいた意見をもとにして、私と事務局で答申書を作成して行きたいと思っております。完成した答申書は、事務局から皆さまに送付させていただきます。</p> <p>ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>(各委員「異議なし」)</p> <p>それでは、これで令和4年度第2回龍ヶ崎市子ども読書活動推進委員会会議を閉会いたします。</p> <p>慎重なご審議、ありがとうございました。</p> |
|              | <p>令和5年1月26日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和      年      月      日</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 _____</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 _____</p>   |